



森のなかま

2021年 7月号

NO. 157 (継続302号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 佐藤 恭平
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

令和3年度 かながわ森林インストラクターの会 通常総会開催

(記 山口 久基事務局長① 写真 黒川 敏史④)

令和3年6月12日(土) 特定非営利活動法人かながわ森林インストラクターの会通常総会が、186名(オンライン出席、委任状含む)の参加を得て開催された。会場はユニコムプラザさがみはら セミナールーム2、コロナ感染症予防対策として会場出席者の体調確認と当日の検温を実施したうえで、13:30より開催された。

司会の山口 久基事務局長(11期)の開会成立宣言の後、久保重明理事長(8期)の挨拶と、コロナ禍で欠席されたご来賓(県環境農政局緑政部水源環境保全課宮本課長様、かながわトラストみどり財団西ヶ谷専務理事兼事務局長様)の挨拶文を司会が代読した。



コロナ対策を取った会場

議長に森本正信氏(5期)、書記に野村昭憲氏(14期)、飛田尚弥氏(15期)、議事録署名人に上田啓二氏(10期)、大原正志氏(13期)を選出し、議事がスタートした。

今回の総会は、オンライン出席者への配信もあり、議事の円滑な進行を目的に 第1号議案の令和2年度活動報告及び決算(案)と第2号議案の活動計画及び予算(案)を各担当からパワーポイントで一括報告することとした。質疑(事前の書面質疑を含む)応答ののち、第1号議案と第2号議案は賛成多数で可決された。



議長

○ 令和3年度の会活動方針は

1. 県民参加の森林づくり活動や森林再生パートナー企業・団体そして学校の森林活動を積極的に支援する。
2. 神奈川県行政やかながわトラストみどり財団及び関連機関と更なる連携を図り、水源環境の保全・再生に努めると共に、その啓発活動に積極的に参加する。
3. 認定NPOとなり健全な財政基盤を確保しながら、一層組織や仕事手法の合理化や再検討を進め、新たな活動分野(森林環境税などを伴う)に参加して行く。
4. 森林に関する催しを積極的に開催し、諸団体・メディアに対して会の活動を発信する。

休憩ののち、第3号議案の役員を選任が行われ、新役員(理事7名、監事2名)が選出された。今回で4期8年の長期にわたり理事長の重責を担われた久保氏が退任され、新理事長に佐藤恭平氏(1期)が就任された。

全ての審議終了後、若者に森林保全活動をアピールできるような映像制作を目指したパイロット動画制作プロジェクトの活動の一部が紹介された。

今回は、コロナ禍で色々な制限がある中、会場での通常総会とオンライン出席者への配信を試みた総会となりましたが、書面総会にはない臨場感を出せたのではないでしょう。



新旧理事長



新理事・監事(一部)

《かながわトラストみどり財団主催》

第一回森林インストラクターブラッシュアップ研修安全管理講習会 植栽作業 技術研修／間伐作業 指導法ワークショップ

日時： 2021 年 5 月 29 日（土）9：00～16：00

場所： 南足柄塚原（塚原ボランティアフィールド）

（公財）かながわトラストみどり財団 豊丸様 藤本様

総括リーダー： 岩田^⑭

講師： 佐藤（武）^⑤、滝澤^⑤、松永^⑪、石川^⑫、江上^⑬

研修参加者 30 名

（記 水野 安則^⑭ 写真 鈴木 淳^⑭）

1.研修の目的

近年導入が推奨されているコンテナ苗の植栽方法を学ぶとともに
森林づくり活動の中で、最も危険度の高い間伐作業の指導技術の向上を目的とする。

2.研修内容

※ 植栽

クヌギ（コンテナ苗）、ヒメシャラ（コンテナ苗）、ミヤマシャブシ（生分解性のコンテナ苗）、イロハモミジ（ポット苗）、カツラ（根巻苗）の計約 1 5 0 本の植栽を行った。

コンテナ苗のメリット	コンテナ苗の問題点
<ul style="list-style-type: none"> ・ポットや裸苗に比べ、狭い面積で多くの苗を生産できる ・より均一な苗の生産ができる ・軽量・小型で運搬効率が良い ・根鉢付き苗のため通年に渡り植栽ができる ・活着率が普通苗（裸根苗）より高い ・植え穴が小さく、根付作業が効率的 	<ul style="list-style-type: none"> ・普通苗（裸根苗）よりも高コスト

苗木と支柱について、支柱側へ最初に堅結びで紐を結んでからが確実。従来 8 の字のイメージで紐を縛るように指導していたが、縛り方が甘いと、後から緩んでずり落ちることがあるので枝のない苗は、注意が必要です。



測量尺で植える位置を決める



デモンストレーション



植栽風景

※ 間伐

今回初めての試みとして、「模擬間伐作業指導ワークショップ」と云う手法で、間伐作業の研修を行いました。3名/組で、1名を森林インストラクター役、2名を参加者の構成で行う。

先ず、森林インストラクター役が、参加者が小学生・初心者・高齢者等などの区分かを決め、間伐作業を行う。作業終了後、指導方法チェックシートに基づき、安全管理・スムーズな進行・分かりやすい伝え方・雰囲気づくり等の項目で良かった点、改善する必要がある点についてグループ討議をしました。より実践に近い研修内容で、スキルアップができたと感じた人が多いと思われました。今後の活動に期待です。



受口を作る作業




掛かり木処理



研修閉会式

総括リーダー：⑭岩田

	1班	2班	3班	4班	5班
講師	⑤佐藤(武)	⑤滝澤	⑪松永	⑫石川	⑬江上
研修生	①友谷	⑧久保	⑨内野	⑨水津	⑨波多野
	⑪上宮田	⑪真貝	⑬北村	⑬古館	⑬星野
	⑮末原	⑮大友	⑮大森	⑮岡村	⑮堀口
	⑩上田	⑩大澤	⑩宮下	⑪湯浅	⑪徳岡
	⑭鈴木	⑭牧石	⑭水野	⑭小松	⑮河西
	⑮久次米	⑮永田	⑮原田	⑮石垣	⑮久慈


人も自然もいきいき丹沢
 丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会の
 ホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>

かながわしずくちゃん **Facebook** は下記URLで見ることができます。


令和3年「やどりきの森へ行こう

—緑したたる森で癒やし体験—

活動報告

日時： 2021年6月5日（土）

場所： 松田町寄 やどりき水源林

お客様： 30名

主催： かながわトラストみどり財団

インストラクター やどりき事業部 統括 佐藤恭平① 水口俊則⑨ 古館信生⑬ 上宮田幸恵⑪

実行責任 若林良子⑦ 宮下修一⑨ 湯浅鉄男⑪ 笠原かずみ⑭ 安井健人⑫ 吉田郁夫⑪

(記：吉田 郁夫⑪ 写真：河西 静夫⑮)

やどりき水源林イベント「やどりき水源林へ行こう！」は季節にあったテーマで年3回計画されています。しかし昨年度はコロナ緊急事態宣言や長雨で中止が続き、やっと1年4ヵ月ぶりに実施ができました。今回は、コロナ感染防止策を徹底して行うことでの臨み、参加者のみなさんにも協力をいただきました。コロナ以外でも梅雨も近く雨の心配をしながらの募集、プログラムの詳細を順次詰めていきました。

当日も相鉄での事故のための電車の遅延があり、遅れるなどの連絡にてんてこ舞いの対応となりました。

受付では記念となる手作りのストラップをお配りしました。

新松田から水源林までバス乗車40分間、車窓から見える松田町・寄について案内もさせていただき、この地域に親しみをもってくださいました。

水源林での開会式にはなんとかお客様も無事勢ぞろいできました。

お天気も思いのほか快方に向かい晴れ間も見え、気温も快適。絶好の日和となってくれました。

まずは広場で開会式。水源林の話や癒やし体験の話など概略の説明を行いました。

いよいよ各班に分かれ体験を始めます。体操の後、足元のヒル対策をし、手指の消毒をし、マスクをかけて密にならないように八方に散らばります。



ちょうどヤマボウシとウツギの白い花がいっぱいに咲き、水源林の初夏を告げてくれています。

広場のベンチに座り、対岸の山と谷川を静かに見ます。前日の雨で山の緑が鮮やか。緑のグラデーションが一層映えて見えます。



森林浴に向かう。ミツバ・松風草などの山野草の香りを楽しみ、森手前で深呼吸を行いONからOFFへ気持ちを切り替えて頂けるようご案内しました。坂道を登りながらフィトンチッドのお話しをしました。シートの上に寝転ぶと、樹々が頭上高く聳えて見えます。緩い風で樹冠のゆらぎが心地よく揺れ、マスクを外して眠ってしまう人もいました。河原の砂利石の上にシートを敷いて寝転んでもらいます。林の中と違って、眼前に広がる空と雲。周りの緑。この広い空間は心地よい解放感と安心を与えてくれるようです。林道を各自一人一人になって歩いてもらいます。一人で歩くと周りの自然の気配を一層強く感じられます。ご自宅の近く、職場の近く、外出の際、小さな公園があればそこで緑に癒されることが出来ますよ。とお伝えしました。



皆で水際に行き、枝を伝わる水の音を聞くと、何とも言えないメルヘンチックな音に全員堪能。「こんなきれいな音初めて」と大満足でした。



お昼ご飯の後は、丸太切りでコースターづくりを楽しんでもらいました。鋸に慣れている人、初めての人、切断した新しい切り口からスギの香りがほんのりと漂っています。斜めに切られたコースターは今日を思い出す記念の品になってくれるかな。

なんとこんなこともあるんだ。思いもかけないことに丁度昼食前に管理棟側の林道わきでカモシカを見つけました。

50cmくらいの子供で、草むらに座っていました。母親が近く

に居るかもと辺りの気配を探りましたが、見当たりません。静かに見物をしていると、こちらを見ながら草を食んだりします。逃げる気配がありません。ケガをしているかも。やがて他のグループのメンバーも順次近くに来てめったに見れない可愛い姿を見ている。あとで聞くと河原の下流の方にヨタヨタしながら歩いて行ったとのこと。

翌日は雨が一日中降っています。何とか無事に生きていてくれるように思います。でも隠れていたのに、人間が大勢で見物したため、移動せざるを得なくなったのではないかな。あの子にとって、最初に見つけずにそのままそっとして見ないでおくべきだったのでしょうか？

なお当日の森の案内人当番やその他の会のメンバーにもお世話を頂きました。ここに御礼を申し上げます。

森のめぐみの掲載は、
今月号はありません。
次掲載は8月号です。

森のめぐみ シリーズ



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

活動短信

今回の掲載はR3年5月23日から6月9日分です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

7月(文月)(旧暦6月水無月)の

二十四節気と七十二候

小暑 7/5 頃

暖かい風が吹き、蓮の花が咲くころ。

大暑 7/21 頃

蒸し暑くなり、時として大雨が降る。

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。
(できれば Word、メール直筆でも OK。Excel はできるだけ
避けてください。改行等の処理に手間を要しますので
写真もあれば添付ください。)

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)

場 場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)

参 参加者 人数

県 例 神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラスみどり財団、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター① (○数字:期) 研:研修枠

以下、本文を概ね400字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェック
をお願いします。(執筆者名もお忘れなく!!)

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

◆ 第1回 県民参加の森林づくり (除伐)

日 令和3年5月23日(日)8:40~14:00 曇り

場 箱根町宮城野(県有林)

参 49名

財 豊丸課長、大木様、倉野様

看 佃 看護師

スタッフ 小田原市森林組合 高橋様、城所様

イ L 西出⑫、真貝⑪、松石⑬、佐藤⑤、西村⑬
齋藤⑧、小林⑯、湯浅⑯、堀口⑯、大原⑬、野牛⑧

今年度第1回の活動が、初めての場所である宮城野・明神平別荘地上部の県有林で行われました。ここは、スギ、ヒノキの複層林で、樹齢100年の高木と同30年の中木が混在しています。堂々とした高木に対して、中木は途中で折れたり、枯れかかっていたりしているものがあり、それらを除伐しました。荒れていた森が整備され、皆さん、きれいになった森を見て満足そうでした。

朝、小田原駅西口でバス4台に分乗して出発し、宮城野で一般道を離れて別荘地に入り、上り詰めた所でバスを降り、オリエンテーション場所に移動し、5班

に分かれて用具を装着して現場に向かいました。未経験者の方も多数おられましたので、班毎にインストラクターが一連の作業をデモンストレーションして、4人程の小グループに分かれて、選木された木を除伐し、伐った木を整頓してゆきました。熱中症に注意して、水分補給をしながら、約2時間、作業を行いました。除伐とは言え、ほとんど間伐に近い作業でしたが、無事に終了しました。用具を整備して、昼食を取り、バスで小田原駅に戻り解散しました。ボランティアの皆さん、ご苦労様でした。(記 西出 健一⑫)

◆ 横浜市立上瀬谷小学校 間伐体験

日 令和3年5月25日(火)9:45~14:00 晴れ

場 相模原市緑区 長竹承継分収林

参 99名(先生7名、児童92名)

財 大木様、古舘様

イ L 西出⑫、柏倉④、小野⑦、松山⑩、松本⑪、
星野⑬、牧石⑭、大友⑯、岡村⑯、小林⑯

好天に恵まれて森の中はちょうど良い気温で快適でした。みんなで力を合わせて樹高7m程のヒノキを間伐して、倒した木から一人ずつコースターを切り出してお土産にしました。ヤマビルの被害が数件ありましたが、皆さん、森の中で大きな木を倒すという貴重な体験に満足そうでした。

愛川ふれあいの村の駐車場で初めの会をやってバスで現地に移動しました。各班10人程の9班に分かれて、用具置き場で、インストラクターの指示の下、ヘルメット、フェイスシールド、枝打鋸を装備して移動です。現場では、間伐の意義、方法の説明を受けた後、いよいよ作業に入ります。倒す木にロープを掛けて途中で滑車で向きを変えて、いよいよ大鋸で受け口、追い口の順に木に切込を入れます。そして、全員でロープを引くと大きなヒノキが音をたてて地面に倒れて、皆さんから歓声が上がりました。その後、倒れた木の枝を払って、幹を2m程に切って間伐は終了です。その後、一人ずつ、コースターを切り出しました。倒したばかりのヒノキから作ったコースターからはいい香りがします。皆さんお土産を手にも現場をあとにしました。(記 写真 西出 健一⑫)



各自で香りのよいヒノキのコースター作り

◆ 第2回 県民参加の森林づくり (竹林整備)

日 令和3年6月5日(土)8:00~13:30 晴れ

場 小田原市小竹(住宅供給公社社有林)

参 72名

財 大木様、藤本様 寺本様

看 青木様

スタッフ 小田原市森林組合2名様

イ L小野⑦、大道⑥、水津⑨、内野⑨、一重⑪、
徳岡⑪、石川⑫、宮下⑫、北村⑬、小松⑭、水野⑭
竹内⑮、大友⑯、岡村⑯、久慈⑯、祐谷⑯

7:50に集合場所の東海道線二宮駅北口に集合したインストラクター16名は手分けし名簿チェック検温、駅改札での案内を実施。定刻に5台のバスに分乗して小竹北公園へ向かう。9時より当日の作業内容と注意事項等を説明して用具を配付。今回は初めての試みで剪定鋏を配付せず枝払いを鋸にての作業とした。

作業場所は真竹、孟宗竹、ハチクと広葉樹・針葉樹の混生地で昨年コロナ禍にて作業していないので割れたり倒伏したり竹で場所によっては、進入に苦勞する状況である。

班毎に適宜休憩を入れながら水分補給留意した。小竹の繁茂も多く、倒れた竹が他の立木(竹や樹木)に絡んでいて玉切り、枝払い等の作業に手間取り乍らも予定時刻には作業を終了。

作業後の場所は見違えるほどスッキリして見通しも良くなった。

小竹北公園に帰着後用具を返納して昼食とした。昼食時、もりかみ協議会様ご提供のカートカン(間伐材等を使った紙製容器のお茶)を頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

むし暑さの中作業に精励頂いた参加の皆様に謝意を表し、事故無く終了出来た事に安堵の一日でした。(記 小野 幸広⑦)

◆ 横浜市立奈良の丘小学校 林業体験間伐

日 令和3年6月9日(水)9:45~12:15 曇り

場 相模原市緑区長竹 承継分収林

参 79名(先生5名、児童74名)

財 大木様、古舘様

イ L⑪松本 ⑤佐藤 ⑦小野 ⑫西出 ⑬星野
⑭黒川 ⑭牧石 ⑮竹内 ⑯岡村 9名

つい最近まで小学3年生の小学4年生で昨年の反省から非力が懸念されたので、今回は一本伐倒/2班/2インストラクター、コースター作り(輪切り)は班毎に行う事にした。生徒は勿論、インストラクターのチームワークも試すプログラムとなった。

08:45-09:15 インストは予めお願いしたコンビニローソン舟久保店さんの駐車場に各自駐車し、待ち合わせ場所の蕪尾根広場に集合し、インスト全員の体温・体調の聴取または測定、注意事項の伝達、ヘルメット、マイク等の装着を行い生徒のバスを待たした。

(コロナ禍対応で生徒とはバスと一緒に乗車しない)

09:45-10:15 バスは予定より遅れ9:45着、到着後、班毎に用具場所に移動。用具装着後、現場に移動。生徒は個々にヘルメット、フェイスシールド、枝打ちノコを装着、班毎に間伐ノコ、ロープ、スリング滑車、ひっかけ棒等。今回は強くお願いした軍手、長袖長ズボン、長靴下、水筒(熱中症予防)。

10:15-11:45 森の話(森の働き、間伐の意義など)/班の後、間伐作業(伐倒、玉切り)2班合同。枝払い及び、コースター作り/班

11:45-12:00 下山して用具整備(鋸の歯をブラシ掛け)・用具返却

12:00-12:15 蕪尾根ふれあい広場に

12:15 子供達のバス見送り

12:10-12:30 マイク、安全チェックシートの回収、活動報告会後に解散。



体力がない生徒/インストラクター負担増の軽減のため2班で伐倒を行った。

ロープを2本結び安全距離、密に考慮した。結果は少しインストラクター同士の集合力の結集が少しくまらなかつたり、生徒の待ち時間が多くなつたりしたが、今後の伐倒ケースの一つになる事が実証できた。

また、2本のロープの接続(結び)は、はた結び、ほん結び、もやい結び等を各インストラクターは行い、忘れかけている結びの原点も安全に対応できた。

(記 写真 松本 保⑩)

やどりき水源林ミニガイド

「森の案内人」

森の案内人を再開しています。
水源林にお出かけください。

「やどりき水源林ニュース」



<http://www.forest-kanagawa.jp/4field/news/news186.pdf>

6月号が発行されました。
水滴る水源林です。

●問合せ:

(公財)かながわトラスみどり財団
TEL: 045-412-2255
FAX: 045-412-2300

●ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>
E-mail: midori@ktm.or.jp

総会で承認された新理事、監事を
紹介します。

理事

- | | | |
|-----|-------|---------|
| 1期 | 佐藤 恭平 | 理事長 |
| 8期 | 久保 重明 | 副理事長 |
| 11期 | 山口 久基 | 事務局長 |
| 8期 | 野牛 雪子 | NW 管理部長 |
| 11期 | 湯浅 鉄男 | 安全管理委員長 |
| 14期 | 黒川 敏史 | 広報部長 |
| 14期 | 野村 昭憲 | 総務部長 |

監事

- | | |
|-----|--------|
| 11期 | 上宮田 幸恵 |
| 15期 | 末原 與一 |

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP 担当: 井出恒夫)

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

黒川 敏史

Mail: kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp
Tel: 080-5477-2206

<電子配信会員向け担当> 笠原

Mail: happy_kumakuma711@icloud.com

<電子配信企業等パートナー様向け担当>

柳澤 Mail: kshinrin_pr@icloud.com

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】黒川 敏史

Fax: 0467-46-8650
電話連絡先: 080-5477-2206

Mail: kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊】阿藤 寿孝

Tel: 045-433-4413
Mail: hisa-ato2@22.netyou.jp

原稿は随時受け付けています。

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会

宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集後記

★春が来て、植物、動物、活動が盛んになりましたね。

人間界では、まだコロナのパンデミックが続いています。日本では、オリンピックの強行で、もうメチャクチャって感じ。とても心配です。

インストでは自然に同調して活動が春を迎えています。新緑から初夏まで自然って気持ちが和みますねえ。(吉田)

★釈然としないまま、なし崩しに始まりそうなオリンピック。今年の夏は、大好きなスポーツ観戦も封印し、腰痛の治療と、森林・里山ボランティアに「全集中！」(竹内)

★ようやくコロナ予防ワクチン接種の予約がとれました。

とれるまでのストレスというよりは、大分頭に血がのぼりました。

年齢がわかっているのですから、数学手法がわかっているから、コンピューター化は簡単だと思うのですが。

それとも政治的手法??でわざと。最後には皆さんに予防接種が行きわたりますのでその時は〇〇-ががんばったからですと。

(松本)

★外国産木材が値上がりし、木材価格が高騰し始めてるとか!

国内林業には追い風になりそうなのだが、急激な需要には追いつかないそうである。

日本の木材自給率は37.8%。我々インストラクターも県産木材の生産増加に協力できると良いですね。(阿藤)

★やっとならぬ関東地方が梅雨入りしました。この季節の花といえばアジサイですが、昔はどこの家にもあって、お花屋さんにも並んでいなかったような気がします。最近はいろいろなアジサイが出てきて、花束の主役級の花になっているなあと思いました。(笠原)

★今年度の総会は、一年ぶりに、人数限定でしたが人が集まって開催されました。ですがその後の懇親会は当然なし。懇親会・イベント中止、仕事はテレワーク。人と人が会って雑談する機会がめっきり減ってしまってます。でもそんなところから新しいアイデアや新規事業が生まれたり、ポカミスの防止ができていたような気がします(黒川)

編集人: 黒川 敏史

広報部: 吉田郁夫 松本保 笠原かずみ
加藤優美 阿藤寿孝 竹内明彦
柳澤千恵美 小林照夫
武田昭典 中澤良夫
支援: 大原正志 江頭淑子